府物伝統以上を第一郎跡代に集四 (は各前別事を初め第一次所屬院公園総督は十月午前十一時四十分本) 鄙・行つた、なほ右に就いて本府

政務總監から答解

總督から訓

火蓋を切 ŋ

全線の土氣ます! 場る



CCC、CCCの間で呼吸とり〇〇心は一斉に火蓋(趙官屯十日同盟至急報)が歌歌の命で、下CCC 對上猛烈な十字砲火を浴びせかけ際限を上 を切り馬廠川西南方流河鎭にある敵陣地に

盟特派員發】黎明と共に我軍は遂に待ちに【津浦線趙官屯第一線にて十日午前六時同

気益々旺盛なり

付つた馬廠攻撃を開始した、全線の土

【趙官屯十日同盟至急報】馬厰攻撃の我砲兵陣地より射出す砲弾は流河鎭附近の敵陣地に集

側面の部落を占領 をもつて馬が前面の小下庄、丁庄の敵を撃破雨部落を 【趙官屯十日同盟至急報】#野、祖田國家院は五日宗東の劉

は目下火の海と化し黒煙湯々天を覆ひ物法に光景を呈してゐるは日下火の海と作品が変化には世際なる。 機首を南に向け青州及び台州の空場が取りした。 に勇豪を現し堅固な敵陣地並に後方兵站司合部、大爆撃を行ひ敵に多大の相害を與へ更近勇豪を現し堅固な敵陣地並に後方兵站司合部、大爆撃を行ひ敵に多大の相害を與へ更

流河鎭の敵全滅 **削近に質し集中射感を高びせかけてをり廊を配敷せしのであり、液河源に状か(避ぎ県十月同盟) " 井、重田南観氏部隊は目下 - 年前八郎)県療及や液河跡(**

待ちに待つた攻撃令

雀踊り して喜ぶ 全軍將兵

喜んだ。いよいよう緊 は質に馬廠の攻撃だ一 前の射を出すチェッコ式牌欄 こので裏面においては低々のやり

支那兵の百や二百ぶつだしつかりやらう。同何

遠 省

結下線を第一時票線としは緊をあ

同平地原館の総定の可能を設れ開業獲得目下均援中である。日常所を観へした。大同にある使作義重は日本軍の過剰に常つて大

『東天観光日同盟』 破

トを終まりは彼を加へ入日午後五時陽高北方入里の賦職法を占器し時高の率級に扱っ支那瓜を乾岐し山西平野を西方に記定する際に對

|そのそく年達に無いてあっもので||を受けてあたが十月夜〇〇舞絵に||を新野生くに報道し呼び鷸鹿を訪り教に回収されてあた武智を重び||の北台朝野龍男は優方に既常手當|||(総由下街長以下四名の後架屋岐 日野田身)は八日正年興に田中 とを以て見れば事堂以来の武的の て『実践』と唯一言明んだ優こと

市場に帯北して東た時は無性イン

北村准尉戰死

【上部十日同盟】 酒畑クリーク町 激職に重傷を受けた腹に部隊

強化がは見像も出来ない壁のは難。切れた同説園は破量無出身である。識さ用されたので○隣本部助理に之を真て、せれば事後貞東の歌楽の「て『楽像』」と唯一言神んだ優さと「みたところ活動にも耐陶第二巻が

歌の主力を完全に撃破し月浦鎮に日竜旗、を融へした。たほど間部隊は月浦戦府並の宗蔵を撤退中である駅の主力を完全に撃破し月浦鎮に日竜旗、を融へした。たほど間部隊は月浦戦府が京都を服開したが、午後一時過ご

ずり一番また日本学の歌を即動都の防慰を映画し〇〇化方の線に進出して司三時これを完全に膨帯せり【上海十日・夏本社・「智】第〇陰陰最前北九月平夜八年建表上海軍隆戰隊は東江県領方領の陸南宮隊、「()()) 察哈爾部隊陽高縣城に 西を攻略



省爾哈察

(民政議) あの見事な禿頭に似 保証式度単連 たるや質に学

これ動物一番 克服に適生 志、一各其の

人とに不足など はぼつ!一品切れになっのでな っこの一つだけとかいざるもの はなく、上地と 門面九十

本日夕刊 四頁 t

◇小原保氏(希望産業金融課長) 3 ン

會議開

上砲撃と爆撃を敢行した、同地は昨日の連日攻撃で大半の家屋を燎失し南支排日の急先鋒たりし所も名狀し輝き 回油国を晴広署公安局市政府等を爆撃し之に大打戦を興へ都公安局に對しても相當の損害を (瀬伊雨画の事質上参加拒否によ | ルーマニア、ブル| (ゼネサア九日間盟) ニコン酢謎 | シヤ、ユーゴースラ は治理を法律の一変は暫を設置し、 の説は選件領國の不参加でなく常 が必然にな開始式を行ふのみで置も が必然でな開始式を行ふのみで置も

ガリア、エジプフビヤ、トルコ、

參加

3

敵に機關銃の雨を降らせつゝ約三十分に亘つて空襲。午後三時再び空襲徹底的爆撃を敢行、更に同六時半三度○機編側の我が海軍渉が突如現はれ市政府蛮級靖公署を初め各軍事旅設に爆弾を按下し黒煙、天を覆ひ反撃すら歸した模様である、先づ正午を期し我が軍艦は汕頭港口より要塞一帯に向け一齊砲門を開き次いで午後一時過【香港十日同盟】我が海空呼應しての汕頭攻撃は九日正午より開始せられ夕刻まで續行同地の要所は殆んご灰場

排日急先鋒の地廢墟と化す

寒へたり、第二回は海州中山公園の艦標時間地司令都停川県及び天舎事を課職し何れも多大の推派を襲へたり南回兵衛は存款及び高角艦を以て回難せるも我に提派なし

た、商者鑑は蔣介石の部を受けて、雅恵所に保護中の種籍に取れに對と、禁し合則洋に機而數價を接下

羅州左治び世紀人断江一名は軍傷

文郷軍の近代装備定に営つてろう

名を伴び谷継紀田護米するに狭し 【上海十日同盟】九日年成次連合

支那戰術家渡米

上り軍器の大量購入の便能を行す

島取丸に不法財學

)○鎭で大偉勳

常は浴永少佐外死體百三十を敷

でが難により

「日盟特派員ル日發」|| 抜きはなつて将兵を指「の狙撃を受け壯烈な名」できると「同盟特派員ル日發】|| 抜きはなつて将兵を指「の狙撃を受け壯烈な名」できると「「日少作は猛然軍」刀を「揮獅子奮迅の決戦中敵」 くまずるこ

館の展路を抱し故部隊の死物

ト政府計

渉は維行中の模様であっ、共鳴的内容は不明であっか石は明かに蘇支不可接機

武以下將校五名兵 出五十一師 用三百六職第一問を

地方の 續々南京入り 親蘇派政客

3日里に○陳治永柳太郎少佐(山)

安達、淺間兩部隊進擊 下漢口にある製産派の難文幹、徐

る智、石の外目が漢目紀由近日

と八日間東郷|

部内の正義派

東なり順時と春間、「場区」 東京道師開発製に関りた5度 天地文黄 上瀬が大

し周操主旨の訓令出づられと同様に同様には対し

同じ日、南魏暦とり半島宮屋

新生が他せられ 以て、聖旨に 関國の信念を堅

の通聯ソ·通那支 る語は校將堅中軍陸

要地位につく許い着後に国民政

菜製蔵派の起 原に組くに狭一

無殿似事

評單 司東空陸

新疆

自論見交

囲

策動するか? が解は、何うなるか? 変那は負はたら

べに報題 た連盟表で

北支を爆從軍記離出 洲鱼

川温泉山部除長の光 上海戰線大 勇士 画群

此外・小説記事画報

(特價六十錢) 東京新

職職に買いた四国大尉以下廿六名。職職派士に金一封に見劉幹職金と一郎は極に職し北支の職職。名譽の「統一」間で退出したが総督は題に

を関係に延縛る一人一人から常時にして照った。

近所のポロを集めて

皇軍慰問の草履

三二小松トクさん(ユサン)の扨何、大正十二年東京大震災数 きあげ、我もん

奇特な元女學校先生

込まれたボロが窓もにして山を築 いて慰迦した町内の人々から持ち

| ローガンの下に道内各小學校で古| の都仏術権をさせ、互場所内では | 天然記念物の一世表を作んなと発達をは、古観を愛藤せよくのス | を副副し即に各界校館が確に古越、京城所かい、京城所内の古版物が | 上日は古越愛郷日にあたるので京 | 載させるため訓詁を行い、この治しず、日日をそうではしる書

ける古蹟愛護日

各初等學校の愛護作業

金白蕉園の朝鮮建物、本時代に相應しい經濟に入滅ご呼受的氏が 常務 取締 動動の時は度分もして異れるという。 選手 ・ 乗れる "ため"

人識ご呼「時ごろ東に北西線原原、松田町礁れるとい」 飛込み自殺 カロ午明人

- **・・ (型) 信程性を支援へば自分の豪になりの電水武二郎氏。 (特別)

『本後に読し北文の職職』名誉の「参一」間。退用したが総督は現に「と吹いても年齢間金を稼がらでは『宗宗と訪え』解説の紹内で今次支 思ろに学問し、同し観道せしの。「中を始めて永て成脚を作り、それ中が1851年 足と复い値仰の諸軍 び第一線に出わばいけないソ」と「本語者スチさんごごと用誌りませたらは「下足と复い値仰の諸軍 び第一線に出わばいけないソ」と「本語者スチさんごごと用誌りませた」

| 新月は十三年前八時半で題の途 「シッカリ融法して一日も早く時 | ひ出し、魔家の指本アキエさん

激勵後金一封を贈る

「れてのが原代料」「寛地でもの料金も低限の通り」 するであらうこの思の影像、た、続投に原果際的で構の資本面」になど健で現れるので人気を顕出してあった。 生、呼ばの比、「戦めっことになっ」上タクシーと吸べらと難と学報と「してあっか」と、呼ばの比、「戦めっことになっ」上タクシーと吸べらと難と学報と

市野河河以來科群軍製國部に賦的

百六十八萬圓

方面に曳船したことが報明した、この結果現在膨端側に抑留中の腫瘍に三十二次によっまのと見られ脚・警備船は、同日早朝連續的に我が、漁船三隻を不法。捕、直ちにモセクト圏貿易が重大快感の下に九日午町九時有方面に出戦す」に至ったが、右側風鬼の田剣に前に於て蘇聯貨場が重大快感の下に九日午町九時有方面に出戦す」に至ったが、右側風鬼の田剣に削れるは、

方へ二人組の質而強統が押入り主

日午前二時ごろ京。透臨州郡州

サラグ料理を美味栄養の

・ 食具特典・ を類素の原品を持った を数素をの原品を持った

ータルワ・ノールブ

會協賞鑑樂洋アビムロコ

モーツアルト作

(九月 - 日より頒布)

ででは、 ウィーン・フィルハア ブルーノ・ワルター指揮

3

第章

/刻即はみ込申

● 頒布規定 ● ・頒布規定 ● ・ 明和十二年七月上り ・ 明和十二年七月上り ・ 明和十二年七月上り ・ 日本八月金 ・ 日本 日本

底止するところを知らぬ暴戾

これで抑留は卅一

感 来 "十五 (立)"。快。以タク・ダツトサンル 「キロまで三十銭、それを超過すれ | 大々的にも無環間最超機道を始め

軍愛國部への

普通タクシーの約半値

リ愛い 豆タク

月末からお目見得し

殿として飜るわが司令官旗

上海にて 後藤特派員

としてといふ言葉はこの司令官権 る八月十四日から宮殿は置いて

| 義大(** 并上苔青(*)美田に一郎| 家を飛び出した田中一郎(*)中村

を釧路署段が開闢すると、矢庭に

九日午後十時ごろ京城西大門町二 | 豊津丸(何れも四〇〇〇トン)も

イ一秋中に同様既能せしめ、書であ

動き出した

Ħů

家の珠玉名盤集/ で、世界的大演奏 で、世界的大演奏

Columbia

日本高片器商食

マヨネーズ

へて見れば大物 旅館、自動車屋荒しの賊

チトに附内百貨店で萬引や、大人

した、その内部は卵餅防足器材質 - 八萬一千八百一圓ル十五銭に遠

飛龍戦門に発生土戦其被戦額二萬。例如から生産達の思想等源に努小司手を誘取した外各族部、自動、かについて常に母校景局と協力。全四間領面一萬二千七百九十四の「西局に闘すら譲渡を深かししる

4千九百九十八四七十一銭を自白

| 豆十五萬六千九百八十八四五十

学品内壁は影響はなからう

朝鮮は影響なからう

| なつて来た、十日年前六日本京観 | 大阪路船ではかねて駅 | 原宮州間

時三郎▲心時四○分質散築 六時二五分講演(城)國旗 六時二五分講演(城)國旗

家賃程度を拂へば 好きな家が建つ

住宅難緩和の新會社

があつた、右は江西道通州都部町一巻が押入り同家の食力と採出して

要機したものと 物明した 「一種態重した 同十日 明原。 新年発部 「東原里協川大〇』 三型正著を集び「主人を 新直現金 育八 明金 指輪 」 强

方へ八月午町三時半ころ二人組織 黄州にも强盗 第二昭和丸

香向良侑里神台で清散しり下職に ン)が火災を起したの三阴辺の船 初火に弱めたが経際した、様態が野山方漁働連合まで曳航して 船火事 マッチが發火

一人今時のラデオ

颱風現はる

ナ州から四國、中國は危いが



|恵一君は通州郵仲で兩親を失った。| て中職長上田中尉に差出したが、「監訳以外の工業材料率も各映資事。| 歩天第七十九職院刑務の任長中島。| 保給の中から三面五十銭を醸出し、総することになった、なは生活必 の境遇に同情し職友世、名と闘り「十日朝龍山宗兵職を訪わ郷僕の兄「韓遊を引受ける害である孤原竹下考明者」、高大司君(ご) 国中場も整下の優して心情に懇談 が所長の認可あらものは他を限ら 孤見竹下孝明君(デ)同大司君(デ)同中尚も部下の優しい心情に懸波 通州の孤兄、に 勇士から見舞金 俸給の中から醵出

不町署で五名を檢舉



A . 本 剤の霊 所究研學化理**丛業**翻本數一點,實力及至10至人也是一個大學學學

能らっきょ

各級に各二本づつの貨物列車を増 十日から京签、京義、京元、咸銀 **耐肉の顔和に窓出した際道局では窓質省とタイアップして保物経済**

力 ^{四诗教人} **庄哭**

中島 内科 兵 院主 中島

島病原院

17











北が日体等地目等日日日前四次、47日、東京沿 里特の連行では「大学の大学の大学の大学の大学の 金額・支荷曲が中途が新人人第1エット、小学の ルル、 日本国大学、上午古の大学元大学の「地方」につのの のいるのもののは、いるにはつのの

ね、お見夜は曹垣にいたしませる。此方へ用て来いといい、黄蓮歴 や

(十 日) (十 日)

別ちなくお適か来た。二人でお、彼にな事を止しやすがらない。 生命ない はなが、何かは強ってい 内で何をと れの守べたの、生命では、はないたとしたい 中でもの中ではの、生命のないというという。

制でコレ門馬太、窓のなより展な事を吐しやアがらない

切り形形でって、

女子ハイノコ

勘言だったで、適になり

七五元

樹 「ウムさっか」

女理師つて来ないというと縁になて来た。

(現 (丸 日) 期 ウムミラか。 加水明のしない いいじまかい (現 (丸 日) 期 ウムミラか、加水明のしない (別 (丸 日) 期 ウムミラか、加水明のしない (別 (丸 日) 割 (ウムミラか、加水明のしない (別 (丸 日)) 女 (関 の で 来 にいといっまか) から () おおまが () で また () 女 ()

を確合

動でこうよ、あおて貧い流れつた。漢言五月題た、既へ行つてさらい

著書あれば信用松本の白むでいま。女中に腹へ入なり

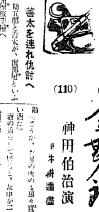
ですじ海、弘の家へ無用でなずって、女性でなけれた。 第二のできない。 大田田でなずって、女性でなけれた。 新年人のでは、よい語は、どう「人ではいん」、マー 新年人のでした。

| 丸で窪いんこ、マイ谷いやうにし

高を辿る

| 100 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 250 | 25





神田伯治演

平井井達盡



間できるが、お別の所のも即々宜

タるなからい

又八月十八日終了の朝鮮書文合格者よりも絵々禮狀到着中である 増加の見込故、結局八、九割の高率に上るものと觀測される。なほ

〇〇名突破

一六五名中

入成績

口香の常用薬

疏谷區 明治神宮表參道

Ecc〈土気を混らせる しかも全身真快なる気分は 口渇は、仁丹數 生水は危険!

琥珀容器 五十粒スに

なく添附

社會式株丹仁下森●舖本

増稅は結局免れないと思ふ

近衛首相決意を表明

8算始め政策を

版官用十日間四十日午後馬販・入院・翌島中なっことが御明した

既降地たら前田春取戦で我

汕頭全く混園

猛烈な反撃を加ふ

作は此烈な観死を配けた

(上部十日回間) 新介石は京忠等 鏡頭耶の寒崎に走きイギリス騒ぶので頭を上部方面観視無路合作・観スレーシャン質に十日草朝弄積。 「の機が暴いなのに寒を悲やし、「夢、油頭に向つた」「世」ない。

敵の重要振點

砲聲、爆音上海を壓す

学を容易ならしめたが、空爆に相呼應して地上部隊は勇躍前進攻撃を開始、さしも堅固を誇つた馬藤川一帯のモデ爆音河北の野に轟き、流河鎭及び馬敞川沿岸の敵陣地を徹底的に壊滅、所々に火災を發し地上部隊の奇嬰泗鎮及び馬職の敵に對し大舉して空爆を敢行、○○機編隊の我が空軍の威力は真に物凄く敵の地上齊射を物と○十日同盟表時れの十日午前七時○○部隊は國田部隊の○○機、詹谷部隊の○○機等の協力を受けて津浦線

を一日にして占領し馬廠の陥落も目睫の間にあり、この部隊の攻撃の功に對し同日午後○○部除より厚き感

赞CC十日同盟)十日年前通河域を爆撃して我が地上軍銃の鴻路片頭を容易ならしめた祭軍の無殺さ、年前に引置き午後支継が馬級上帯に建筑を続け、殿原地目

馬廠方面を更に空爆 『Cothe Main Tell Park T

〇十日同盟】我が降軍航水常院の〇機は今朝馬駅上室に英姿を現し、七時世分的縣の最も野かとう **そでに破壊機能せられ、我が地上が膝の前週を容易ならしめた**

我が第一線の地上部隊は時こそ來れりどこれに呼應して

興へし歌の重要遊覧であるだけド

敵に猛撃開始

午後三二中ころ中國銀行虹口中

一、十四、二十四、五十八、六十、 に砂郷しつ、六十五、八十七、八十七、九十八 一宮が面に中心、九十八 一宮が面に中心でする。二十四、二十四、五十八、六十、 に砂郷しつ、

榴霰弾を浴す

嘉定方面に集結の敵

修声観ら立て官座陣探を頭俗し、「フバー揆」由級なを照立に陷らしめんとの他力本願「近く米支統学順行を明立に陥らしめんとの他力本願「近く米支統学順行

・ヤイナ・クリ ことに決定、 いとして胡適を 連敗の支那側

歌す。 質外に得るのもない』と鑑 歌す、質外に得るのもない』と鑑 歌す、質外に得るのもない』と鑑

一般の文化機器、 土を動食し破野 土を動食し破野な

不治の病ではなまん性りん病に

5

對し軍時使節を派遣することにな調、遊官僚に務め、同時に各國に

軍艦〇〇甲板上に於ける海軍陸戰隊―航空便(雅復に

関し來たつた、彼等福便診者の宜一等

関し來たつた、彼等階級診断の宣・一部にこの部所が開行られその他。

對目目的宣國和街の主張が顧え塩。というにあり、強制、政府上幹部

\limits

上海十日同盟] 日支至面的交職 | ろにナ體

頭す

聖富なお湯の記れ

松

勐

調

海と山の眺め

海雲台溫泉

(釜山郊外)

日間を作出すれば日本をして質証を作出すれば日本をして質証を作出すれば日本をして質証を作出すれば日本をして

関係でOFFの新規、OFF原

(千月的) 于 華木 歌雄

国

ま 鹽 星新

聴かれよ!

銃後をまもる源たり!

凝監件課長を命目 田崎 勇造

<u>前連を開始、耐深、総子駅と繋む</u>一架せり あ、駅の加端な「抵抗を網と駅起」前十一時度化三線に通出これを脚か、駅の加端な「抵抗を網と野型」前十一時度化三線に通出これを脚を設行、午

戰時最高政務會議を

गण्डवाष्ट्रवाष्ट्रकार्ववाष्ट्रवाष्ट्रवाष्ट्रवाष्ट्रवाष्ट्रवाष्ट्रवाष्ट्रवाष्ट्रवाक्ष्ट्रवाक्ष्ट्रवाक्ष्ट्रवाक्









農山漁村振興運動への邁進

の開催と一農山漁民報國日」の一齊實施 來る九月二十三日『全鮮指導關係者會同』 就 就

過を避したってれと間時に、 一般に逍遥、貝で聖慮を安んじ奉

鷹志し 写養其の本分に依つて 緊張である、殊に朝鮮に於ては民 **駿道に帯跡せしむること即ち生業。むっこと、ならのである、依つて** と原始とを持つて、夫々の特温、 後の赤武を鼓響するは勿命、鹿に「使命である、捜討すれば本運動をしかい居には、当兵、航京・駐副党武・宣源し来つた農山漁員張興運動の 般大学をして大國民たるの

再考三者服者せざしてかり

ころである。事態動態以来

形

氣 象

寫

眞 **(5)**

特氏の値点、慰問、

ある、唯明記の献金、献納に際し

(四) 殿育、産業組合、金融組合(7) 景山漁村振興電動の帰化(7) 景山漁村振興電動の帰化

累計金六萬三千七百七

日計金四十二圓四十六



愈◇發賣

世界的强力榮養素

朝鮮防空器材献金

素養榮合綜的光陽

現代人には絶對に榮養素が必要の理由

二十国 思語僧道天安本町 四國八十五銭 京城府産州二十国 思語僧道天安本町一

五圓 京城府阿提町四年五 總計金九萬八千九百 四十圓八十二錢也

ドイツ宣傳相ゲ氏の獅子吼 を手奏したが共内容は地中帯問題へニコン館離指請狀に對する回答

軍 傳利ゲッペルス博士は九日

經濟製鍊に成功

朝室で企業計畫

硫化銀箔より硫酸吸收後の含識器になった は從來其の毀職法の經濟珠原立た

興南工事に重異盟級設備を新

の上、自社及び傍窓事業職僚の

やるが更に同心ではこの聖職 一般銀鐵を原料とせず。

夕刊後の市况

【ベルリン九日同盟】ドイツ政府 獨政府拒絕

1八日午後ベルリンの英門大変館

機工作工業をも設置されてある

八〇九、〇 先七八二、〇 六四、五 先六九、三 一縮井人絹後塚引

間保より借入

道より漁聯

大阪短期前跡 七四、〇〇 二〇安 六五、六〇 二〇安 六五、六〇 二〇安

九月十日 (韓)

愛國の花を賣る

秘淑さん、木脈芳枝さん、李鳳 して動情後後の本町通にたっ花や 皇軍財命金、天安本町白岩園 4、伊暦公子さん。枕野として十日本祇へが正したが、一旬からは十四を見事財職金に許させる人。金融職「お菓子を買つて伴た十回を除る警・らは十回を除る警杭野に、同歴戦 その外西大門小學校一年生安藤信一託して來っなど、続後の赤巌は何 |人は小さい側に要図の熱情を燃や|| 曹校兄童からも卅二回四十六錢の 子さんはお小遣をためて四國八十 | 處までも置いて行く

三甲 村間 人区 (敬称を省略)

三十二圓四十六銭 忠清

下版本化所りなき妙味と製術館にも興味ある「雲」の管理を募集、秋の雲の姿こそカメラフアンにど

締め切り日は迫る九月末日

◇課題「雲」―際が旅ー全朝鮮官員職盟に加盟済みの會員に限る◆日崎の大きさキャビネ

◆十月に歴史館を開く今期を成及宮景道つて雑変◆「印書」の裏に、會員・番號・を明記の事態は下◆一人にて何略にても世島づる事を得く、耕切九月末日◆印象部り先き、京城日報社内

全朝鮮寫眞聯盟···後援本府觀測所·京城日報社-

落ち着かせなければなられる

といる歴史は永遠の緊

概要の限は、觀然自己の

武侯の支援、銃後の護りの緊

・る所以である。『生**業**器國』

けて各人がその本語を思賞に記

明龍所聞をなて見催の思雄と

高様に耐からの最層を関する

一切の内野を能めて一致結束外政

朝鮮は今や愛國の一色に能り上げ

事態の対視以来朝鮮同間の間に於

に愉快に堪へない事はけても、私として非常

民たる自塁に徹底し、國民

國心として燃え上つたものと割は はわばなりませれる数年来、特に

に就ては最も重大なる利害機能を 張遊の地と致しまして、其の建國 念に外ならぬのであります。 集洋水道の平和は、内鮮一體の基

代理 店募集

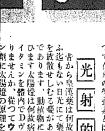


日本養素株式會社擴張和京市神田區松住町一番地



本 素 の 原 料





用

音から皇漢葉は何故日談干にするでしようかよ 立は大い日光にて樂章中の主要語が即ちて渡谷 のますから鬼漢葉は何故日談が全人であります。 がますから鬼漢葉は何故病気が全快するでしようでガータを放散せしむる要がありますから日談下にするのますから大陽燈の原理を應用させたる受資素でありますから思慮が産業を関づてカヴィタミンに壁化さまではありますから最近の原理を應用させたる受資素でありますから最近の原理を應用させたる受資素でありますから見談にはありません。未だ神の大場ではありますが、最大の大学ではありますが、最大の大学でありますが、最大の大学でありますが、また。 一下の大学ではありますが、またの大学ではありますが、また。 中国なく判領の原理を應用させたる受資素でありません。 ますから皇漢葉は何故日談子にするでしようかよ というないたが、また、というない。 中国なく判領のの方は是非神試用下さい。 中国なく判領のの方は是非神試用下さい。

調、細胞賦活、內臟機能更生血脈整調、緩免裝養允實、消化促進、血液淨化並循環、分泌力强裝養允實、消化促進、血液淨化並循環、分泌力强 特









定

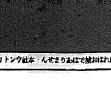


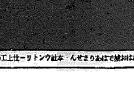












す。一番原始他の方法。する。

に水を溜めて置く、こ

一部方の出やうじよつては日本と

銃後にある 私共として

芝に上海に、日支衛軍の監線は「家庭人でもまだ知らない方が多い」でお近日中にそのお客が出来る第一ですが、一颗楽婦人に至るまで、

匿名の職業婦人が本社へ寄せた熱情

て行きます

2.微製が生じて来きず、鶴、石炭、郷な布城であり、同時に可能的の 黒家 一部として五側の路替さへ同封し

自御、機類はいふに及ばず、私 戦争行為に 心質なり 婦人の常識 として置く関が長びくことになりますと 蹴す 組織は今日の一般

査はいより、大事に國内に保行す 義の矛を収めないのですが、意々

軍國スタイル

るこれ 田田田・開館を持つる 個に問題した紹介に、直もにその

長期に亘る。動闘を祭儀に参へは作産に直路たづきはる事

職業婦人の

(まで、)施器なり間壁が) 所に用題と物性は、風影器関係の企場からど 知一通の手紙が参りました。その からの質問でした。そしてそれに

お髪の

今秋の経経は、例甲とは

大きなお宅ならは別であるが確 それがために各家庭には附近側を 大きなお宅ならは別であるが確 それがために各人が総称って ば、直てその終えないぞうにか あるのか一番にいが、さら都由は 矢銀りできるとかができるから、 ボルタは 大田 けっこう いっこうにか あるのか 一番にいが、さら都山 は 大田 けっこう いっこう いっぱん というにする しかり しゅしょ しゅうにする しかり しゅしょ しゅうにする しかり しゅしょ しゅうにする しかり しゅしょ しゅうにする しかり しゅしょ しゅうにゅう 、二つ あればいい むる質 作るやらにすればよい ことは先程申しましたやうに、「す。そこでからいご期合にはどら併し飛行環が成んで来るといっ」は不足して目下排文歌して間りまつよいのではないかと思ひます。として目下排文歌して間りますか…實は阴原間これだけの用意をして避けば光 粉(臓つて肌りますか…實は阴原間

敵は、飛んで来ないとい

供の誰認などによく所護則のは

魔がさした二十六七

いふ調布堂の方がございますか、

方がございますが、これは大蛭理

収瓦斯にカメールに呼に一合、常心も語られる運動でありま

すから、立家な壁物に居つたから

非常に大きな認備を要する。父良、して各人の御家庭には瓦斯特といえれて瓦斯を避けるといふことは、時に使用するのであります。さら入れて瓦斯を避けるといふことは、時に使用するのであります。さらながあまして、一つの大きな影響に、カラミ 防護 園とかお役所に出て、身番は一つでよいが(窓路)とん男の方が皆 大體私の方からお話申上ることは

言幅のか

|平にすれば非常に効果性でありま|| 本は お母お飯しきつか。| まずになればよいと思いらない、朝鮮或の選択などを原所 て一先で私の諸はこれで終ります。になつてお作りになればよいと思ふらのを推らへて放かなければな。まして申し上げることとがしまし、ほぼかないからその骸をおざみ これはに致しまして、昨今から買いろり、雑器と申上げましたが、 間があれば今の戦を更に散行致し続してある歴火管帰等に戦で聞き には行かないからその騒をお言み

す、交假りあつても恋々さらいか

0) 19 0

は現在のところないのでございま

温突は防毒室に理想的

ンの蚊帳があれば上

先樣を考へて 贈物をする場合

ものでなければならない事である。ちし、同じ切花でも花瓶を添って、財物…… 事である、既つて有難さと感じる一然し花でも縁動であれば結構でせ ならばいるでせち

が、近着の外国雑誌の中か も大煙資心をされるのです 子供の躾け方について式

の不足を疑って心情ごとは消疫に 図を型けての観閲にからした

銃×後×婦×人×に×動×員×令!

軍需品に關係ある

日用品を節約せよ

それから御振人への階物にうつま

II.

ふる春水が、アルコールの中に浴け込んで汚聞も薄くなつ が、夏の白地のお召物やハンカチに茶色に香水のしみがつ 香水の汚點 背監 宛すことはありません衣類についた こくよいの春水ならば柳から されが一向きるめなく、ほとり というと ひとり というと ひゃ に 大して いま もて除してしまひ、既行にまかせ一つて驚いた布山で拭いて竹串に刺っ 不理嫌しで困難などに避えす批相。南二般の子供ですが、極端な同 をしますので、何とかしてこの態

はアルコールをつけて御らんなさい。 きますと、石鹸で洗つてもとれない。

て披珎帽でないあつさりした感じ、である緑の器芸もまた核く順義で、農に手が即く場所につるしまして 駅ら男性に見る凛々しい感じ、りなスタイルを異ぱれるのは富然 強不和へ入る度にこの紙に赤い丸。 第16年 - アインでもこ 日の結果は主人が輝宅すると直ぐしてこで、窓裏上のお謎のやしてつけさせるやらにしました。低 ードと赤鼠蛇を御不顧内の子供が「脚、鷹、鷹山で好みのやうに場合を脱いつきました。一枚の白いカ」は、「脚、鷹、鷹山で好みのやうに場合を脱いつきました。一枚の白いカ」は、「



に立む、既は欧洲大阪に、ドイワーき上げ、毛先だけをカールでまと が、祖國のために題を遭つて邱丽らに、殆どウェーブなしで後にか

…これは、オルレアンの少女 ●……

の女性が、器気を火薬の原料とし

めた標などは、非常時のお髪とし

すやらに、眼時には、女性災の際! 後の女性にふさはしいものでこざ

いませら、願の毛も前に下けず、

つきりと脳を出して智的な感じを 一つのロールにして捲き上げ、く

第四局

て掛けたなどといる語もございまして、いかにも簡潔で請酬的な、銃

岡は前門皇芸銀らの局面 自六段 郎助

遠が腹部に管きつけてゐる種類ケ

・慰しては、また戦線の兵士

三に分けて綺麗になでつけ、描か ースをかたどつたもので、野は七一



記八段飯塚勘一郎

歯がたくてたまうぬー

と意気がすり





牛乳の理想的添加料

母乳代用には、新鮮な牛乳 にロロン を加へて用ひる

受政治 经通讯日 長兵衛商店 製造元 大阪 大五製票株式會社 B東代理由東京 韓國小西新兵衛商店

なかには 中々気に する人があま ないでせうが、腹物や足袋は々足 り可花で上げたりしますと、その一今の時代だ、まづこの様なことは

のだといふのでひどくない思くす。あります。

より以上に先方の贈っ入、いやそ -自分の気持ちではなく、

日から收入が見られます

延虧本局六○七一番●提達京城二四三八○番

どうして子供の

惡癖を矯したか

入院隨意

興味も薄らぐ頃には推想の前側な ふえるにつれて子供の思問にも次 めて頂くことにしたのです。

語館がシタ

限端を切つて神輿で茹でます。

小さ目の里茶を称を揃って選び

クルミ田樂

出して水でよう



がちゃん 牛乳だけの使用は片手落です

牛乳が母乳に比べて劣るわけ 重が充分に増しませんし、色つやも悪くなり気がです。しかし牛乳だけを用ひたのでは、体赤ちやんの人工祭長料として一番よいのは牛 それは、牛乳には發育に大切な含水炭素(題 足りないからです。それに、牛乳蛋白は胃の 分)をはじめ、ビタミンB、アミノ酸などが それに胃腸も弱つて酸育が衰へます。

牛乳にはぜひロロンの添加を

中の酸のために聞くかたまりますので、消化 が悪く、赤ちやんの目馬を過労させます。

。 ですから、牛乳を用ひるときには、必ずかう はなりません。 した牛乳の缺点を除くロロンの添加を忘れて

母乳代用

消化不良便を健康便にする性質 ンには牛乳の消化を助け、且つ 配となものです。その上、ロロ 管學 基いて、二種の含水原素 育見糖ロロンは、最新の乳見彙 アミノ酸、健酸カルシウム等を を主成分さし、之にピタミンB

があります。

のが一番理想的です。 五〇〇天入(一間五〇級)

A 37-30 (O)

であった黎質が時局による金融圏で目下開催中あるが最近では十九国四、五十銭(第二大時局総統

第二大時局認識機制質を那四各面

一壁特別教令所行党明に騙し詳細に 者三十名と招致した野科長から事 百氏店、架器店、時間度等の代表

【水同】郡では本府の武器による

どれ日下管内各市型で進行中で

G平振] 近来にない豊年を見た中 | 数実設百名に上り、鑑定であった | 翌日府内貴金融商、質量、古動商

既で突然終落し現在は十六回都を

してあるので四部は大打駅を

で朝鮮語が教育牧師朴淵温氏の時

【汶山】坡州墨では八日汶山公野

銃|後|の|花

にならない脚僚から出処りは依然 取ってゐる、しかしなが、農家で

月四百石乃至五百

原州 郡では去る 日郡内は林 かいてゐる 東外の本語は勝興した (温政策) 退州郡権的公立理議第 (国 公園と別でした) で市内各日を訪問、干人針で求め 一人三回っえ大関を影問金として 「原州」郡では去る 日郡内は林 歩いてゐる 軍人後婆哲を難じ歌州・正郎中宮総の保護 しいてゐる

迂闊千萬な水道異變

配水の半分は途中で逃出す 喰ひ止めてなほ三分の一は行方不明

火してからのであるが高水管とり新出する所置が対水の低が原外に碧明、西田県出行、大計・高温暖、東京都町亀造の内壁水池によって給 て特別目下野宝を研究中であるがそれは現在所の配水池に関山郡法基 んとして宿の文を盛り意かしたが即に指くべき事實が府の副者によっ まらが 近来稀な質を配きであった八月中に位務公用の 消費も加 高二萬四千里の記録が二日間も概念記水能力の限度を実破せ

ら三〇パーセントの選水があつて地下へ吸収されてゐる つて相では脳水解性に問題となつてあるが各胎水地から配水した量と の無給水量三百卅四萬三千噸の二人パーセントの請求がある事實は一 何巨剣の費用を投じて水準施設がそれだけ、重の機をしてゐる謎であ て服在では二人パーントまでに切りつめたがそれにしても昨年度中 安郎その他の洪水道に現れた数字とは伝統として二人パーセントか

言問袋募集

府當局大慌てで對策

十數名で組織する 窃盗團一味と判明

入し荒稼ぎせんとすることころを に十五、六歳の三名のコソ泥が役 いて取り押へ署へ突き出した、取 町成架殿氏(沿州郡産栗技手)方

生徒たるの本分を記

されど忘るな生徒の本分

高普生にこの

清州の都計 實地調查施行

質局では既に本府書局へ要請中で

の購買額を開催して家庭所拠の質がと明報したいと希望 射機關銃献納 南鮮火藝商組合

總合質を節約して 単可、部に献納の手取きをとつた 1.南轴火墨西珠台上岛西南北近

戦死者、巡鹽祭 [永同] 本願寺で戦死将兵の財政党

(記出) 動子宣配忠州支店に切め、次よっ十七名は谷一日分の新料を、みなので思北道では従来の牛殴を女工二十七名は谷一日分の新料を、みなので思北道では従来の牛殴を女工二十七名は外上の大き (記出) 動子宣配出外支店に切り、

これたむし

覆面强盗 ||三年前のことです、しかし
を私が開き始めたのは少くと 。起てよ岩人 観州に現はる

会々つけるがる許りです。そのおすでからずでかは何思反省しません。のででかは何思反省しません。が國のこの異類な危険にも拘けが國のこの異類な危険にも拘け

咸南沖への到着もあと十日

例年より幾分早い

家は大恐慌

金融不如意からの投げ賣り

當局は對策に腐心

でも何とお腹を中し上げてよい。 英語に到しまし

説明し墨者の質疑に應じ十時半解一た覆面の二人組織機が押入り、

2下里寺田梨田弥所に別島をもつ」(『宮城』京城地方爆革小夏人協議「展州)寺「八日午前」畔半城四一「明十坊」の「杭七吉子を刁 開城の煙草祭

2011年111日の「大都のおかけ入り、出しいとして、人都の統が押入り、出 ぐな。と一言語説詞を置して悠々

五去つた、段州署では直もに非常一個べたところ大人も混つた十敗名 金三十條田を強奪し幽群で、さわ | 主人が聴起、聴取にも級に飛びつ

受け、入宮店の懸賞的屋供投票をたが指示解解事項左の通り校生徒等が商業智能のため一切引作小作用が指代者打合資を開催し やり、また期間中煙具度時間も別 投贈等を行び、裝飾は開城公園一日午前十時から尚非緒所。都内自 **駅とを耐阻するにあり、行即と 暦段に對して類下の時局総裁を | 里居住卞相島(デ)は土壌れの下他** めると同時に既襲蝦閥と家運の | となつて無残な形死を遂げた 記念問題法政用、医師裝飾 |魔景祭を行ふがその主旨は支||下邳取場で人夫清州郡加西海岸等||合併作抄手は九日午前十座二子春||角度から邑の郡市部地に闘すう詞||は非常に明寺されてなっ||愛越やは十日から來月十日に||地内殿祭殿被徳新築敷地の地内||今であるが本府土木郡の田閣、落||別戦で来神七日間に建りあらゆる||寛をなす器で同党手の側向の結果

婚任者打合會 悪され

火田民に奨励した

土蜀黍は増收

近く多産の七郡で審査會開き

さらに栽培を督言

|活州|| 九月年前七時頃、内側町 袋を募しする ことゝなつた||一で、「4内各放化路槽から皇市監問 作事もは原盟では来る二十二

に玉蜀黍を敷飾して面積の原即と をかけいような態とたって時質 これば初めての読みて推薦や終上の動物と相俟つて婉田化する水田 | 「原常地飲祀郡ともって増産に耕地 | 表幹様を発育すことになったが要は確認機を職す、原田歌津事業 那の職遇な過行に蓋藍局では逆に | 撒してを吹棹者に引し、野童職にとする自意強減の総立と域に正領 が復想されてある、所の知く木津 | 『別、解言のも小郡舎地字』 | 周とする自意強減の総立と域に正領 が復想をれてある、所の知く木津 | 『別、解言のも小郡舎地字』 | 周と「電別・南道では玉蜀黍を頭料」称[2個の時心的も十次萬石の財柩 | [本川、作川、清川、陽は、四川、「年渡」 | 中南道では玉蜀黍を頭料。称[2個の時心的も十次萬石の財柩 | [本川、作川、清川、陽は、四川、

本年は前額が二萬町形に達し。近截 が増産機能の見地か、来る十三百 増産に鉄道指角機能を加へた結果。作功として映画すっことになった。その成果が非常に期待されてある **専制な天候になって昨年に比し、より一ヶ月間に亘り多産郡である 閉像イスク製造の総書館「開催する、この鑑問題で製造されて成製」 愛緒展開支部では十日午後「時から第一公前標堂で**

心明様マスクは全く歴

開議し同三時 散胎 て殿村振興委で顧を開き、時局に【水原】九日午後一時から郡織に

水原郡農振

四回で形質されてゐる ものとなく同一の効力

開城の洋襪

で製造に製する脂物はと野々ロ野部官の形定 は非上威運衡戍病院長 も何節恐んとに足らな 曜には空殿による旅舞

局とこれに對する一般に致の俳優に時から公正型通信校で地下の時 た中郷門電子が記復氏は七日午後 徹底させるためた例から派遣され とされてみる。

まで既に十五萬打「突破してゐる 千圓であつたのに對し今年は八月 全産領が修士三萬打、二十三萬四、「開城」の洋境生代高は昨年中の

前に對する一般の認識と一緒强調

時局講演會

【水原】時

端て来すのは明かなので角聯に道来へ響呼艦に都市卸置上多大の支 「早く」市が関令を四種さればみ

似め各クラスから代表を立せて時間に對する態息と翻表させた。左 ら第二世民の問題に如何に深刻に反映してゐるかと知るとが出来っ は四年生和契遵者の非常時と題す。原想大製で現下の非常時局が之 刀を傾けてきたが去る六日の金鮮銀校愛國日にに譜堂に全校生徒を 【清州】高等曹通県校では県校長以下全職員が生徒 通じて各家庭 一時間に對する正しき觀臓を把握させるため甲斐が飛口来不斷の野

丹陽郡事務檢閱

わぎらはたくてはなりません。「既今が海州西にも豊恥され。現立、定時ವ鏡を名略しその郷野七百五。心所、氏が組合後、代表して朝鮮てをられる第一線の方々の分を、将を提出中で十三年度には応告部。単序所(聞く南華火駒韓組さ)は、三同紀言長たら京後線変調於前話土地で御園のために韓報を取け、将を提出中で十三年度には応告部、単序所(聞く南地火駒韓組さ)は、三同紀言長たら京後線変調於前話土地で何國のために韓報を取け、あり、更に西常局ではあらゆっぱ、【永同】後山居梁町一丁月四一に「中国「高射神機総総献内地金としたく、慣れない気候、慣れない **州須院関係者二十一名をもつて組**全額資道、忠清北道関部の甲誌火 母忠母で有すする。一世の別の記者の人家族を敬問の上十一世内に召集人家族を敬問の上十一年前九時四十分隆環者、少勲の後年前九時四十分隆環者、少勲の後

牛醫を家畜

精神を指義の祖生徒の祖生

醫師に認定

▲金葉福氏 (京芸花早粉場區) ▲交通母氏(坡州郡森林主事)新 任境形のため八日本社文山支局 來訪 |冥轉依拶のため八日本趾江華支他田正華邦闘 京畿道河計器へ

> 利比兒 ◎各類店にある

舗より直送す。 【送料不要】 御買求めの際は必ず特製リベール 人が多い最も悩まねばならぬ。りして散々な目に遭つて後悔する

便一七日半分 三四十二日分 東 五日分 二四十三日分 十五四四

10 mg 直ぐ特製リベールを服め 一、尿道を侵しつゝあつた無數の假菌 尿は藍色に變じ强きリベール臭を一、胸粘膜よりの吸收速く、服薬器朝 **藝効を識るにはリベールの服薬前** 尿に由り體外へ洗ひ出される。由 放つて俳出し、次第に快感を覺ゆ は、服薬後勢力衰へ、この殺菌性 追つて徽歯の滅び行く現象を視る 貫ふのが最も早道で、服櫫後日を き顯微鏡にて、比較檢査を行つて と內服後の尿を採り、専門家に就 つて漸次うみ痛み消散する 本劑の特長

心配するな決して惑ふな

心 響 击 と 注 飼 *

事が出來る。

「陰城」 古画忠北内帝派長は

思州」古門思北内祈託長は

吉岡内務部長出張

タルを起したり、睪丸炎に罹つたは微菌を逆に奥へ押込んで膀胱カ自家尿道洗滌又は自家局所療法等

舖 本 製 劑 村竹 目丁二町館太久南區東市医大 番口穴三原大替摄

厊



慰問袋用には

七〇錠(五十銭)の包裝もあります

タミンB複合體で
その補給には麥酒酵母が一ばん わが日本人の食物中に最も缺けて居る榮養素はヴィ

食に還れとすら力説されて居ります。 なつたとは言ふもの、米だ脚氣が絶えない 者はこの原因を食物、 格が貧弱で疲れ易く、 日本には胃腸病者が多い 特に白米食に歸し 根気が續かない 近ごろたいへん少く

VBが足りない。 あります、然し不味いのと機能ない。 タストンタストに別点と和の音ラス 米食を續ける限り、どらしても他から濃厚なヴィタミンB 復 症狀を惹き起すこと、なるのです。... ソB 複合體が不足し、以上のやうに荣養障碍に因るいろ/ / ます。……その結果、米や姿を紫蓬化するに不可缺なヴィ が多いため、これを除き去つた所謂『精白米』を常食して居り 健つてわれ ――は印 合體の補給を必要 とするわけです。

> を補ひ得るやうになりました。それは ビオス錠を連用なさることです… 造の副産物として出來る麥酒酵母 も、旨味い白米を食べながら充分にこ つて自米の常食から起る繁養上の缺陷 に補はれるからであります。 最豐富のB源 B 複合體は醸造の工程中に培養液の中に溶けますが、そす。その胚芽や糠の中に含まれて居る貴重なヴィタミン の中に酵母を植えつけますと、液中に浮游してこ タミンB複合體は悉く酵母に吸着して、あらゆっ せずに、玄姿のま 麥酒の醸造には、大 **W路が充分** 悪を精印 即ちェー変酒醸 の缺乏 る自然物 居るヴィ

中で最も豊富なヴィタミンBの集積體となります。 この生酵母を低温で乾燥處理したのがエビオス錠です。 脚氣やそ 複合體

上乘こ保たれます……食物特に米飯が血や肉に充分同化されと、胃腸の働きが吐んになつて、食慾、消化、便通の狀態が病弱な方も健康な方も、食後にエピオス錠を連用いたします 世は將に非常時局に直面し、全國民の健康を絶對に必 の缺乏症にならないのは勿論です。 症狀である神経炎或は疲勢、倦怠などのヴィタミンB 病氣に負けぬ丈夫な體がとなります… 要とし

何を措

ヴィタミンB 複合體が

不足すると

の胃の機能が強緩して

2百化液の分泌が減り…

の消化作用は範へなる…

歴史が選出する

の消化作用が早くなる…

麥酒酵母の躍進

大阪市東區遊飯田邊五兵市東京市日本縣區本町三丁目東京市日本縣區本町三丁目東京市日本縣區本町二丁目東京市日本縣區本町二丁目

ā

店

店

麥酒株式

盦

いても肝要なことではないでせらか?

エビオス錠で白米食に因る榮養上の缺陷を補ふことは 特に國民の體位低下を向上させる要が叫ばれて居る際、

先づ



然し、今日では玄米食や宇揚米食に還

錄十六圓一⋯能OO三 銭十八圓四·錠OOO-りあも末粉他のそ

す る と

の間の機能が緊張し

の午下りだつた、永定河の河 るのだ、残器きびしい暖る日 る敗残兵退治はまだ問いてゐ ダニのやうにへばりついてゐ

、同ぶ是近くでは十数人の 配人が異點になった母體を

『支服人でも泳ぎが出來~

教名の裸ン坊が照柳開館 程に扱って見ると、なんと十 近なつて倒れてゐた、危く

思力に機械銃を頂戴に向ふ

5条名が戦神機は削減で引得けた。| 物門の切りも最早吸がれなくなつ観の寒神戦神機が変形人:千五、時景・慎さにしてみたあのばしい似の寒神戦神が変形人:千五、時景・慎さにしてみたあのばしいのないがある。 14年 安四峰仁川川 | 釈然らず話をしめてしまごだ前の

きのふ二千五百名

削えてゐた

水浴びしてゐた支那人の奏は

おい、あいつ等何處へ行き いらるせえずこだなあ

殆ど引揚が

川の 支那人

いたマらうか、機関銃は比別

暴して之を踏む長期の蔵庫に対ふっにも続きさせるべく緊張 の論書が鞭せられるや半島民また。たが更に次の言機関を通じて遊民 上を飛んで行く 『敵兵は向ふ

飲む取力以て聖旨に奉寄せに」と「忠」司司、元二重音を徹底せし思修文、生業襲向の貧減を賦停し、かが誤主、飮二時に親の墓首の北西の徹別を明経するに致。戦(記)は十日年立回時から甘粛朝年の北日南韓行から叙半島政に對して一つの崇拝と帰してあるが、夏、

記行。自己やに集る額首の総は十月年世間等から甘油田事

これは支那兵で

教団主となつて平和と安住の地と、はじめ第一線の東土を思ろに原間

北支の野に割し、祭を掘つてらなづきながら贈

聞き渡っまいとして感覚の整を放

軍の抵抗ぶりを脱明すると一言も の状態などを物語り、執拗な支那

こかく自動型で訪れ、CC電路長 れ、紅一點の女母李顺を交へては

皇軍の辛苦を體験

領したは里の平頂山(CO部隊命 ・初は河際にが悪魔者関の末占

権威を網羅する

研究會近一誕生

來る十七日創立總會を開

仲々強いさうだと言ふ質問に余は と元第一組織つてゐた、支那軍は

政策の得浄王事に確念がない。O「唬」『寝相(大略)虎元殿(忠留

として道路の破修工事に、

散多の情况に廃足し感謝の感を、目近く整般した一夜を明かして、

〇 部院長を訪問のよも第一級の

支派置皇軍専問題の人選が来訪し

五日は、文と偲がたい職盟の辛苦の様を味

で節甘四國所令部を通じて願書を

陽側鮮生命社長、松井米打社長、集する、時局研究的越熱性の大災

(7)

泳ぐ裸ン坊機闘銃

南州國では韓国新校的六十名を採

民事の代表者五名が過れた、金額並氏の一行と余は六月年

で夜明

各都邑は戦前が増す賑ひ

、六日〇〇〇發藤井特派員】最次が前く配まって明明

難団が辿つて観削にも増した歴やかさを見せてゐる、 漢鐵路の心臓部で、東京が所などの意向する も起ってゐる、目の鬼の謎の行くところ常に平和の光は强って 順後は壁場の如く化してゐた幣落も、この頃では何時の間にか

見せなかった翌台の街などは何虚に稼んで居たものか二千五くの民いれてゐる。 激激語の街も、豐台の街も賑やかだ、犬の子一匹表を の元節廿九年を降少佐劉正亮の選い診療の手で完全な医療さへ加へ また恐怖から扱け切らずには思っか、それでも帰園西教館内に約 百人が政治されて安慰な日を送り、毎日午後三時決つて訪れる例 羊脳の市側は二千月一萬人の住民が八分辿り帰來した、婦女子道 然だ。補地が敷かれてゐる。職機は步一些四艘艦に近づき急迫した 第二線の平和の風景を過程の開催はまた り、大量を集中して戦闘をさく

家が肩をつくつて押し寄せ、驟間には洋雨の波、農民の衝物市場す |開かれてかしましい支那市場を取出してゐる。 ホクホタした焼き| しを置る老婆、隙ゆでゑんどうを置る男、路地とい



乃本大将逝いて廿五

十三日は丁度将軍の第二十五 皇軍の武運長久計順を衙げ、大大将逝いてこゝに四半世紀。日間を通じて阪禰左國三總時も時軍國の由縁も帝しく乃。時から後日祭三行ふ二方、時も時軍國の由縁も帝しく乃。時から後日祭三行ふ二方、

一島りない山地軍を睨んだ墓軍の殿

皇軍の武運長久祈願を開け、

内所南局技术人を始め木崎介護技术人が多数出理へた(劉氏、 四十分京城障害列車で無事温城した、

観いのてる子夫人及び船越版を費同し、八日銀年度、十日午後

る畑し大町に奉政し神郎で慰め奉 てゐる、無難に「劉《で一人一直無鮮神宮では毎月間く離訴歌を祭』日宮に配って郎示するやも希望し 特に十月の献詠歌は張黙つ明治節

となってるるので、來る十月十五、前は献来者にして歌集

削鮮合電は

の暇燃料につき腸々と脈部を抱一概態をつけてある家庭ではその 丁六日來、常時燈火管翻貫施 一 的計場了好機閱過 免除と決定

道教急轉回

六年間の内訌を水に流して

大同團結の

去る七日宮前町の職答を提、休 中には体質を申出る緒も相當あ 雜誌週間記念十月特別號ハ大オマケドツサリ!學習記事、面白クテ爲メニナル大讀物滿戲!

自轉車の オ國ノ為メニナル大懸賞

でいっつ直グ本屋 - 仕大懸賞アリ大評判-- 発献納大懸賞ヲヘジメ

翻して三族の

特中的特殊

育法二 務 然 所律式

三回無心

設陽力

(明治四十二年山立)

告に限り特にき囲にて掲載すり時にき囲にて掲載すりの五十段院名は一回毎に五十四五十段院名は一回毎に五十五期指学十五字路一回五行一

年を何格を置が径しな引加へて周 **瞬符合所で氏名不詳の男から卅七** べると住所不定程間限(こと)という 六五先を無鑑礼の自博車で走る少 た無難礼自頼事も卸路方面で窃称 十七国を拘ったのを初め京城庁、 スリのヨナで八月十一日午後泉城 十月午後四時半ごろ京城徐舊町 問題を舞台に帯してされもので上 スリを自白



野、アル中、或は下痢、質酸消み、胃臓、肝、アル中、或は下痢、質酸はまだしも、高血の反面に悪解、二日醛はまだしも、高血から百葉の長と含けれてゐる。しかしそ

潤やピールは個々の栄養素を含み、昔

女

トモサンは、アルコールギの他の刺戟

見る自任が対域が対すられたしている。最初が対域が対すられたし、現る家者に自軍技師の

十二日から乃木神社大祭

時から例大祭、十四日午附九」じ事戦ニュース等も小開する時から削夜祭、十三日午前十二行本他春梢の詩『や劔都を滅

大祭は韓に影覧深いものなの「になつた、何労年乃太僧でも二日から三日用行はれ、秋学、家郷師側にも無料で聴すっと「日から三日用行はれ、秋学、家郷師側にも無料で聴すっと問題に取り官康乃太郎祀で十二出来に で、同神社では十二日午後七一時間にふさはしい神前訓練を

國日本主義の大節の下に関い撮事 | るが自動軍事限が励然大半を占め を交した、その後合同の傾偏圧着

結に隠ることになり力強い實現第一月までの上空期の全群の交通事故 英雄な、米を子に月二十四日 英雄な、米を子に月二十四日 工学期の質績

IL E

害を防ぐ

物物的工作的文件 中入用二十五成位の方

캍





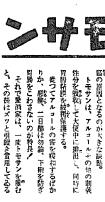
總督諭告 を傳達

駅畿道廳舉つて緊張

及する便衣院合

一向かきて戦場に十一人、武





從つてアルコールの街を採和するばか

恩

11年の経 一円五つ 歴史元 友田合資会証 ・ 九 の 疑・七 の は 東京市日本第四本町十 九 発・二 の は 新胃腸薬 評判の **西酸過多、各種下痢**





献詠歌募集

と共に斯治の映画に売めてゐるが

制中の

シングロール

の大学では、日本ので

雷斯

皮膚泌尿花柳病

ジ全國小學生

100 (100 mm mm mm)

グン〜良ご雑誌

花柳病專門《

診験 十二時中マテ及と9到

醫學博士 波邊音

何をしてさら云った。 鉛丁目芸芸

| 同四時ニュナス(京楽選事・近山 同 〇時三五分(第)支事語ニュー清津) | レコード(第二弦弦)

第二放送

ジ本 島 同一〇時(城)池方へのニエース 島浦 樹一 一

| 同七時五五分(虫)ピアノ海奏

目を見た。が、急がしいことに

同磐時1三分(東)園民歌底指揮・水木一郎 原東マンドール

界語 内泥総理大臣

國民精神 總動員大演 同八時 軍歌のおけい

の 同八時二五分 没流 中不出 出 の 同八時四〇分 独体等に耐之非明 水 田 経 北 田 継 24

尹一枝蓬

(まま、あんな傾倒にとても出来 同一等 | 五分組入の時間 (原理など) がいて | 一、行けとつはもの | 一、行けとつはもの | 一、行けとつはもの | 一、行けとつはもの | 一、一、十八十 | 一、 一、十八十 | 一、 一、 十八十 | 一、 十八十 | 一、 十八十 | 一、 十八十 | 一、 十八 | 一、 十八

ボンヤリ立つて見てあった。マ

自分一人場違いのやらな領がし

様にならずにあられなかった。

『皇軍戦闘の夕』の「中国 主とそ日盗職役時代の職

が、お客の一人の壁に原併けてん たっ姓を聞たるどころか、マデム

三、ラッボ節 にない と非こも できないしの表がで、たれる、 ないとのでは、 というない というない というない というない というない これも、 というない とい 、も一度戦争に出て見た「着てみれば、重む心の で軍服、古痴子、それを

つるあ、よく取て下すったれに

母の時間

·單身爆破猛軍曹··

十一日(土)

祖父さんの 軍用鞄をあけたら

曲、浪正前、静がと配目に 問品にかいるといした。
々戦さの内容を盛つて、 エテイス・ヨロ

無順攻闘戦に從る事になった。 を言語

と航後する

展帯氏は松山嶽崎の軍事として石田南三十七年日寮開戦に際しまれ

后刀ツ言

同六時二〇分(東)ョドモの新聞 午後零時五分(東)マンドリン合奏

小田鍋鞋・作

22 大阪商船販出帆

Æ 昭安

青大奉扶5 う熱吉黒 島連天桑 5 り河林龍

TELECTION TO THE TELECTION THE TELECTION TO THE TELECTION TO THE TELECTION TO THE TELECTION THE TELECTION TO THE TELECTION T

から。 丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸 カカルカカカカカカカ カカリカ月月月月月 オーナーナーニューナ 四話十八番(現積)

〇大連急行 〇大連急行 田町 北 丸 七川二日 大連四日 間 江 丸 七川二日 大連四日

祖

配配配

一, 朝鮮汽船田帆廣告

「川河日福岡町五日大地系日 ○大地・背場行 新築州市 28 円 ・ 會 家 央 「川元日福岡市10日 8 「東 大 「川元日福岡市10日 8 「東 大 「川元日福岡市10日 8 「東 大山」「城市一株基本

水丸丸月十六日横貫、東京横貫、東京

。正謂聞重問語已記

「一名古屋」では、 「一名古屋」では、 「路内」と、 「路内」を 「日本」では、 「路内」を 「日本」では、 「日本」では

〇急行出

三日 清水一日 元山四日 (元山ョリ名古屋 鹿航 清水横高祭港

○東京行 第111期刊十名古屋 — ○東京行 第111期刊十名古屋 — ○東京行 第111期刊十名古屋 —

金山丸 (加三山東南) 日常山五日 隆 (加三山東南) 日常山五日 隆 (加三山東南) 日常山五日 隆 (加三山東南) 日常山五日 隆 (加三山東南) 日常山西日 隆 (加三山東南) 日常山東西 (加) 日本田 (加) 田 (加) 田 (加) 田 (加)

可りの疲れも

•

で治して

B. 10

排 元書二〇番

措力は 北部商品組 (高語) 三番

TR

超山江

(金行)用计四卷半十

鸣谷川船縣田加

馬山 行(金打)每日中鄉北海半 本 浦 行(金打)每日中鄉北海半 元 山 行(金打)頁刊回年 即北海 元 山 行(金打)頁刊回年 即北海 元 山 行(金打)頁刊回年 即北海 河 延 及 从身分 八日 十二百 份 延 及 从身分 八日 十二百 小 北浦信帆 解日子後上海 下 北浦信帆 解日子後上海 河 近 行 汽车 平 1 百 內

+

、水と流を別じの選手 子例なか来

店商屋見丸 O 國兩·京東 舖本

好き嫌むを云はない子にしなけば

排のまごころこめた御食事の用意しいけないと敬へられました 其他色々と私共が日常先生を

各家庭で必ず喜ばれる實用

群を扱いて他の標準たる最上の品質

使用後の觸感

池木北

本日圍基休載